

KFR-Jr.&KSSG-Jr.「学生研究講演会」開催報告

2008年6月6日(金)、大阪大学附属図書館吹田分館の視聴覚ホールにおいて、学生研究講演会が開催されました。本講演会は、大阪大学、大阪府立大学、金沢工業大学、神戸大学の四大学から選抜されたM1学生が、流体・環境・構造の各部門に分かれて卒業研究の内容の発表を行い、学術的・人的な交流を深めることを目的に行いました。また、参加の先生方に発表や質疑応答を採点・評価して頂き、各部門の最優秀者と優秀者の決定を試みました。また、本講演会は、KFR-Jr.とKSSG-Jr.との初の共催企画であり、発表者11名を含む154名が参加しました。

午後1時、大塚耕司教授(大阪府立大学)より「今回の画期的な講演会をきっかけに、関西から全国の舞台へと飛躍していきましょう」と開会の辞が述べられ、講演会が始まりました。第一部(流体部門)は、「船」に関する研究テーマが多く、各大学の特色を生かした研究が発表されました。質疑応答の時間では、大学間の垣根を越えた活発な議論・意見交換となりました。第二部(環境部門)は、気象、水中ロボット、海水中栄養塩の計測、圧力センサーと多彩な研究テーマについて発表されました。発表者は、工夫を凝らしたプレゼンテーションで、丁寧に説明していました。第三部(構造部門)は、各発表者が構造の高度なシミュレーション解析を基に研究しており、多くの参加者から強い関心が寄せられ、白熱した講演になりました。

全講演が終了した後、藤久保昌彦教授(大阪大学)が、閉会の辞として、発表者の今後の益々の活躍とKFR・KSSGの更なる飛躍、また我々、講演会の幹事学生に対する温かいねぎらいの言葉を頂戴しました。その後、表彰式を兼ねた交流会が催され、各部門の最優秀者と優秀者が表彰されました。

各部門の最優秀者とその発表題目、優秀者(名前順)は、以下になります。

流体部門

最優秀賞 山村真也(大阪大学)「追波、斜め追波中におけるタンブルホーム船型の極限運動」

優秀賞 川原裕来(大阪府立大学)、松井智良(金沢工業大学)、松田識史(神戸大学)

環境部門

最優秀賞 西山太一(大阪府立大学)「主成分回帰法を用いた栄養塩分布の計測手法に関する検討」

優秀賞 上田 創(大阪大学)、竹本真大(神戸大学)、山崎喜一(金沢工業大学)

構造部門

最優秀賞 金 正賢(大阪大学)「大型浮体構造の応答推定におけるモデル化の影響に関する研究」

優秀賞 有村 翼(大阪府立大学)、西谷裕介(神戸大学)

今回の学生研究講演会は、初めての試みということもあり、企画や運営等に至らないところもありましたが、学術的・人的交流という目的は達成できたのではないかと感じています。また、日本船舶海洋工学会らしく、流体・環境・構造の幅広い分野を通じて、中身の濃い充実した講演会になったと思います。最後になりましたが、本講演会開催に際し協力して頂きました日本船舶海洋工学会及びKFR・KSSGの関係者各位にここに深く感謝し、御礼申し上げます。(記 神戸大学KFR-Jr.幹事 井上寛文)



白熱したディスカッション



受賞者集合写真